

# 塩谷郡市医師会だより

平成17(2005)年3月31日 第37号

社団法人 塩谷郡市医師会 さくら市桜野 1319 番地 3 さくら市氏家保健センター内 Tel 028(682)3518

第4回役員会報告

第5回役員会報告

塩谷広域行政組合と塩谷郡市医師会との話し合い

医療機関における個人情報保護法伝達説明会

## 平成16年度第4回役員会報告

平成17年2月14日(月)午後6時30分から氏家町保健センター集団指導室にて開催されました。出席者：尾形会長・小林副会長・戸村副会長・西・山田・奥山・根本・阿久津正・阿久津博・大和田・大野・二井谷・軽部・池田・尾形新・大草・木内・村井信・植木・岡・森島・村井成・松村茂・佐藤泉・植松・川原事務長 医師連盟より 齊藤和・仲嶋



尾形会長の挨拶に続き、小林副会長の議事進行で次の議題について審議されました。

### ■議題1 次期総会について

次期総会日程は17年4月9日午後5時(土)に決定し承認されました。

平成16年度決算について、会計担当理事の西先生より報告あり、歳入の部、歳出の部と詳しく説明あり、特に問題もなく、全会一致で承認されました。

平成17年度予算案について、西先生から説明がありました。

池田県常任理事より、在宅当番医の分担金が、氏家町と喜連川町が合併しさくら市になれば、予算案が減額される説明がありました。小林副会長から喜連川医師団は氏家医師団に入会するとの報告がありました。

予備費増額について、尾形会長より説明があり、本年度から医療連携ネット(連携くん)も動き出しかかりつけ医の定着や地域医療連携をさらに進めるため、予備費の予算をアップしたいとの説明あり、全会一致で承認されました。

### ■議題2 医療機能分化推進委員会の経過報告

### 委員会の開催日

健康管理手帳に関するアンケート実施

地域医療連携ネット「連携くん」の塩谷総合病院に導入、医療連携ネットに関するアンケート実施  
かかりつけ医の定着と地域医療連携のためのリーフレット配布

かかりつけ医に関する広報(下野新聞にリレーコラム連載)

医療連携推進のための講演会

などについて、岡先生から説明がありました。

塩谷総合病院長奥山先生より、「連携くん」導入で、9月1日より4ヶ月間で紹介率は5~10%アップしたとのこと。尾形会長より、紹介率はやっと20%を超えたところで、今年中に30%を超えたい。三次医療まで行かなくても、二次医療機関で対応することが医療連携の効率アップにつながるとの説明がありました。

### ■議題3 平成16年度公益法人に対する立ち入り検査の結果について

12月20日に栃木県保健福祉部医事厚生課の立ち入り検査あり、定款を改善するよう指摘されました。

川原事務長が定款を全て読み上げ、新・旧定款の変更点を詳しく説明しました。大野先生や尾形新一郎先生より質問や指摘があり、十分な審議の後、新定款は全員一致で承認され、総会にかけられることになりました。

### ■議題4 各種委員会(県ならびに郡市)現状と活動報告

郡市医師会の各種委員会の報告として、山田保険委員・研修委員(学術部会)、松村研修委員(産業部会)、小林介護保険委員、軽部感染症対策委員、佐藤泉裁定委員、戸村医師会史委員、二井谷社会活動委員より、それぞれに活動報告が行われました。

県医師会の各種委員会の報告として、小林医療安全対策委員、佐藤泉裁定委員、山田保険委員、軽部学校医委員・感染症対策委員、大草母体保護法指定医師審査委員、西予算検討委員、尾形直新塩原病院建設委員会委員、阿久津産業医委員、村井信看護婦確保対策委員、尾形新医師連盟幹事、

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
U R L <a href="http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/">http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/</a>	阿久津正之 akutsu@d1.dion.ne.jp	川原 shioya@triton.ocn.ne.jp
M L shioya-ml@tochigi-med.or.jp	戸村 光宏 mtomura@sirius.ocn.ne.jp	坂和 sakawa@e-shioya.jp

村井信医師連盟委員、尾形新医師国保組合理事、大和田医師国保組合会議委員、小林介護保険委員、奥山救急委員、二井谷生涯教育委員、村井成健康スポーツ医学委員、木内県医師会広報委員、阿久津情報化推進委員、尾形医療連携推進委員会委員、岡医療政策研修会委員、大和田社保支払基金審査委員、山田国保審査委員、尾形介護給付費審査会委員、阿久津学校心臓健診委員会委員・産業保健推進センター相談委員より、それぞれに活動報告が行われました。

## ■ 議題 5 その他

阿久津博美心臓健診委員長より、心臓管理指導表の記入料金の検討要望があったが、各医療機関にアンケート調査して、3月の役員会で決めることにしました。

## 平成 16 年度第 5 回役員会報告

平成 17 年 3 月 14 日(月)午後 6 時 30 分から医師会事務所にて開催されました。

出席者：尾形会長・小林副会長・戸村副会長・西・山田・後藤・奥山・根本・阿久津正・阿久津博  
大和田・大野・二井谷・軽部・木内(総会議長)  
尾形新(総会副議長)川原事務長

尾形会長挨拶に続き、小林副会長の議事進行で、次の議題について審議されました。

### 議題 1 決算予算について

西会計担当理事より、16 年度の財務は順調に推移している。17 年度予算見込みは、運転準備資金を取り崩し、予備費を 300 万アップしました。との報告がありました。

尾形会長から、17 年度も地域医療供給体制を整えるため医療連携推進に経費がかかるため、予備費アップをお願いしたいとの説明あり、役員会で了承されました。

### 議題 2 定款変更の草案について

川原事務長より、氏家町と喜連川町が合併してさくら市に変更することや、県の立ち入り検査で指摘された部分の改定を説明し、全員一致で了承され、総会にかけられることになりました。

### 議題 3 地域の医療供給体制整備における医師会の役割...那須郡医師会、南那須医師会との協議

大田原日赤病院も塩谷総合病院も小児科医不足もあり、小児医療体制が後退しており、栃木県北部の小児救急医療体制が低迷後退している。奥山塩谷総合病院長も小児科派遣を獨協医大小児科に依頼しているが、大学病院も新しい臨床研修医制度のため派遣困難であり、小児科医は 2 人体制から 1 人体制になり、小児医療供給体制の整備は、今後も難しい問題とのこと。

軽部先生や尾形新一郎先生からも活発な意見が出

るが、根本的解決方法の提案は出ず、尾形会長より、「塩谷郡市の小児医療体制の構築に向けて」というタイトルの要望書を、塩谷広域行政組合長の遠藤忠氏宛に提出することを決定しました。

具体的内容としては、広域行政、郡市医師会と塩谷総合病院とでの現状分析 具体的かつ実現可能な計画作成 出来上がった計画の速やかな実行など。行政に要望書を出すとともに、医師会としても何が出来るか、今後も検討の必要あり。

### 議題 4 心臓病管理指導表・BCG 接種料金について

阿久津博美心臓健診委員長より心臓健診の流れと問題点の説明がありました。またアンケート調査の結果、心臓病管理指導表記入(文書料)は 530 円(消費税込み)ぐらいが目安として適当であり、役員会で承認されました。

軽部感染症対策委員長より、BCG 接種は生後 6 ヶ月を過ぎると各医療機関で接種することになり、接種料金は BCG 原価からすると今までは安すぎた。BCG 接種料金は 6300 円(消費税込み)ぐらいが目安として適当であり、役員会で承認されました。

予防接種の相互乗り入れは、3月28日のさくら市誕生後に医師会と契約する。インフルエンザはまだ相互乗り入れになっていません。

### 議題 5 総務会のメンバー構成について

総務会メンバーは尾形会長・小林副会長・戸村副会長・西会計担当理事でしたが、高根沢町の宇都宮市との合併問題が落ち着いたので、今回高根沢町からも構成メンバーに参加することになり、阿久津博美理事が加わることになりました。

### 議題 6 県医師会代議員会の報告

大和田代議員より、3月5日の県医師会代議員会で、決算・予算、塩原病院建設、個人情報の問題などが協議されたことの報告がありました。

### 議題 7 ペイオフ解禁の対応

4 月からペイオフ解禁となり、無利息預金や決済用預金にすることも検討されたが、現在の郡市医師会の預金は国有化されている足利銀行を利用しており、国有化終了時に再度検討することになりました。

### 議題 8 その他

- 1) 4 月に総務会を開き、5 月に第 1 回役員会を開催することになりました。
- 2) 自立支援アセスメント・ケアプラン作成マニュアル(在宅版)日本介護福祉士会編集の本が 14 部ほど残っているので、希望者に無料で先着順に配布します。(小林副会長より)
- 3) 二井谷社会活動委員長より妊婦さんに配布した禁煙リーフレットが好評であり、来年度も 2,000 枚



追加発行したいとの話あり、承認されました。

4) この秋から医師国保(現在2割)も、3割負担になります。(大和田医師国保委員より)

## ● 「塩谷広域行政組合消防本部と

### 塩谷都市医師会との話し合い」

日時：平成17年3月16日午後6時30分

場所：塩谷都市医師会会議室

出席者：栃木県健康福祉部医事厚生課

課長補佐：早乙女 正 副主幹：篠崎 直樹

塩谷広域行政組合消防本部

消防長：大島 正良 警防課長：村上 芳忠

特務司令補：斉藤 典男

救急救命士：吉成 政洋、高雄 弘行

栃木県医師会

常任理事：池田 斉

塩谷都市医師会

会長：尾形直三郎

副会長(司会)：小林 正樹

塩谷総合病院院長：奥山 和明

黒須病院院長：金澤 暁太郎

矢板市：木内 敦夫 氏家町：根本 鞆雄

喜連川町：佐野 哲郎

高根沢町：阿久津博美

医師会事務長：川原 一太

### 【議題】

- (1) 救急医療の現状・救急隊、塩谷総合病院、黒須病院それぞれからの報告、最近の傾向、地域の医療供給体制は
- (2) 救急救命士のその後・認められている救急救命処置範囲、気管内挿管、AED、メディカルコントロールなどについて
- (3) ACLSプロバイダーについて・県医師会の対応(Dr.池田)
- (4) 救急医療と法的問題・医事厚生課
- (5) その他

**議題1)** 救急隊：平成16年度は出動件数3453件、搬送3420人、原因は急病によるものが50%、交通事故が20%であった。塩谷総合病院と黒須病院に全体の60%が搬送された。

塩谷総合病院：各科別の救急患者取扱状況から、小児科医が2名に減った平成15年1月を境に小児救急患者は激減(1/5)した。そのため全体数も減少した。小児科医を増員すべく各方面に働きかけているが、改善は困難な状況である。

黒須病院：12月~2月は満床状態のためやむを得ず救急患者を断ったが、無理に収容したためトラブルになった例もありご理解いただきたい。小児救急の8割は他科医で対応し、2割は専門医のいる施設

へ転送した。

現状報告のあと、活発な質疑が交わされた。要望として出された意見を以下に列記する。

精神疾患、アルコール中毒の救急患者が(夜間)暴れたときの対処について、県、警察、精神科医会で迅速な対応指針を示して欲しい。

小児重症例(挿管など)には麻酔科医が初期対応できるので、塩谷総合病院に連絡を入れて欲しい。

前回の会議で「患者搬入後速やかに出発し、搬送中に病院と連絡する」としたが、往診先(患者)からの出発は改善されていない。再度徹底してほしい。

県北医療圏ではこの4月から、土曜、祝日の夜は輪番制が崩れて小児救急の受け入れ病院が無くなってしまふ。県央(宇都宮)への搬送となるが、県として了承しているか、また住民へ窮状を説明してほしい。(救急車の利用法についても)

会長からは、那須郡都市医師会では基幹病院の医師不足を医師会員で協力して埋められないか検討している。当医師会でも要望書提出など積極的に活動していくと発言があった。

**議題2)** 塩谷広域行政組合消防本部には15名の救急救命士があり、うち4名は研修を終え気管内挿管の資格がある。栃木県は全国6位のレベルにある。また6台の救急車すべてにAEDが装備され、全員が使用可能である。消防としては高いレベルにあるが、医療供給体制が十分でなく、受け入れ先を探すために4~5箇所の病院に電話をかけ、患者収容から出発まで15分ほど時間がかかるのが現状である。

**議題3)** 平成16年9月に日本医師会主催のACLS研修会が実施された。30名が午前9時から午後5時まで講義と実習を受けた。指導医10名を擁し密度の濃い研修である。年1回開催していく予定である。(県医師会常任理事：池田)

**議題4)** 病院前救護体制の整備経過について、救急救命士法施行規則の改正、厚生労働省医政局長通知、栃木県の救急医療体制などについて報告された。(医事厚生課)

災害時の対応については、新潟県中越地震では、がんセンター、済生会、自治医大、独協医大の4班を組織し前2班を新潟に派遣した。

### まとめ

地域の救急医療体制が維持困難な状況にある。特に小児医療においてはかなり深刻であり、在宅休日当番医に小児救急症例が搬送される事態も想定される。二次三次の受け入れ態勢が整わない現状では在宅当番医制度も成り立たなくなる。これは医師会だけで解決できる問題ではなく、県、広域行政、中核病院そして地域住民を巻き込んで対策を考える必要がある。(文責：阿久津博美)

## 医療機関における個人情報保護法伝達説明会報告

日時：平成 17 年 3 月 28 日（月）  
場所：さくら市氏家保健センター集団指導室  
講師：塩谷郡市医師会長 尾形 直三郎  
塩谷郡市医師会理事 阿久津 博美  
参加者 62 名

医療機関の取り扱う個人情報はこれまでも医療従事者の守秘義務として保護されてきましたが、本法の施行にあたり個人情報の保護を徹底させなければなりません。同時にカルテやレセプトの開示請求にも対応を迫られております。

4 月からの対応について、県医師会の資料に沿い、個人情報保護法成立の背景、医療分野への適応、医療機関として取り組むべきことについて説明を行いました。

ポイントは

利用目的を明示したポスターを掲示  
従業員の守秘義務に関する誓約書  
委託業者の個人情報保護に関する確認書  
苦情処理窓口の設置  
診療情報の開示手続きの整備  
コンピューターのパスワード設定  
個人情報の保護に関する院内規則の設定

また第三者への提供、電話再診、告知、認知症、精神疾患など慎重に対応しなければなりません。

疑問点は早めに郡市医師会、県医師会にお問い合わせください。事例により弁護士への相談も必要と考えております。  
（報告：阿久津 博美）

## 事務局から

### 今後の講演会等のご案内

第 1 回役員会  
平成 17 年 5 月 9 日（月）午後 6 時 30 分  
会場：医師会事務室  
医学講座  
平成 17 年 5 月 10 日（火）午後 7 時  
会場：さくら市氏家保健センター集団指導室

平成 17 年度郡市医師会保険診療研修会  
平成 17 年 5 月 19 日（木）午後 7 時～9 時  
会場：さくら市清水荘ホテル  
対象者：医師および医療従事者（事務職）  
研修内容（案）

1. 保険診療の仕組み 2
2. 医療安全対策について 2
3. 質問・要望事項

講師

栃木県医師会 太田副会長  
栃木県医師会 村山常任理事  
その他

郡市医師会事務局から参加者募集、質問用紙配布をいたします

### 郵便局に「かかりつけ医」の封筒

塩谷郡市医師会では「かかりつけ医」の定着を図っていますが、その活動の一環として「かかりつけ医」を持ちましょう」「地域医療連携を推進しています」の言葉を印刷した現金封筒（写真参照）を塩谷郡市内の郵便局で使用してもらうことになりました。

郵便局を利用の際に目にしたいと思います。

（文責：岡 一雄）



### 第 5 8 回定時総会のお知らせ

社団法人塩谷郡市医師会第 5 8 回定時総会が平成 17 年 4 月 9 日（土）午後 5 時から開催されます。是非、出席お願いいたします。

また、総会後に恒例の親睦会もさくら市のレストランで行われますのでご参加ください。